



東北大学附属図書館創立100周年記念企画展 「煌めきのコレクション ～未来への贈り物～」開催報告

著者	田中 朱美
雑誌名	東北大学附属図書館調査研究室年報
号	1
ページ	55-62
発行年	2012-03-30
URL	http://hdl.handle.net/10097/53758

東北大学附属図書館創立 100 周年記念企画展

「^{きら}煌めきのコレクション ～未来への贈り物～」開催報告

田中 朱美

東北大学附属図書館は、東北帝国大学創設から 4 年後の明治 44(1911)年に設置された。平成 23(2011)年 3 月の東日本大震災では図書館も被害を受けたが、学内外のご支援や学生ボランティアのご協力により復旧を進め、6 月 14 日(火)の創立 100 周年記念日を迎えることができた。

当館では、毎年秋に企画展を行い、所蔵する資料を広く一般の方に公開している。今年は創立 100 周年ということから「記念企画展」と銘打ち、「^{きら}煌めきのコレクション ～未来への贈り物～」と題して、多数の蔵書の中から選りすぐりの名品を展示した。学内外から 1,701 名の来場があり、好評を博した。

また、会期中の 10 月 30 日(日)には、本学東北アジア研究センター 平川 新教授を講師とし、「江戸時代の日本は“帝国”だった ～ヨーロッパの見た日本～」と題した記念講演会を開催した。

今回の展示品をはじめとする蔵書は、戦災や震災から代々守り抜き、受け継がれてきた財産である。100 年をひとつの節目とし、また未来へと大切に引き継いでいきたい。

1. 開催記録

会期：平成 23 年 10 月 7 日(金)～平成 23 年 11 月 5 日(土) 10:00～17:00

会場：東北大学附属図書館本館 1 号館 1 階展示室

内容：

＜第一部＞「日本文化の形成」日本文化のルーツを訪ねて(天平から安土桃山まで)

東アジア諸国、特に中国と朝鮮半島からの文化的影響を受けながら、次第に日本独自の文化の

形成に至る過程のなかで生み出され、現代まで伝えられた文化遺産の中から、奈良・天平の時代から近世初頭までの各時代を代表する名品・逸品を展示した。

＜第二部＞「江戸の庶民文化」今日に引き継がれる文化の形成

平和な日が長く続いた江戸時代は、武士の力が弱まり、町人中心の文化が栄えた。江戸初期の元禄時代に上方を中心として経済力のある商人の文化が起り、後期の化政時代に文化の中心は江戸に移り、一般庶民の活気ある文化が誕生した。衣服、髪型などのファッションの流行、外食産業の発達、盛り場、名所には人が溢れ、娯楽としての旅、歌舞伎、相撲など、現代にも引き継がれているこの時代の庶民文化を、資料により紹介した。

＜第三部＞「西洋の名著」西洋を築き上げた名著の数々

大正 11(1922)年、東北帝国大学に法文学部が設置されたことに伴い、ヨーロッパに留学していた教授らにより、第一次世界大戦後のドイツ・マルクの暴落の機に乗じて大量の洋書が買い付けられた。購入された著名な学者の旧蔵書には、学術上特に貴重な洋書も多く含まれており、附属図書館の洋書コレクションを形成している。この中から、特に有名なものを展示した。

＜第四部＞「漱石とゆかりの人々」「漱石文庫」収蔵資料を中心に

当館では、夏目漱石の旧蔵書を「漱石文庫」として所蔵している。この文庫は、当時の附属図書館長で、漱石の愛弟子であった小宮豊隆の尽力により本学に譲渡された。コレクションには、漱石自身の多くの書き込みがある英文学関係の図書のほか、日記、ノート、試験問題、原稿等の自筆資料も含まれている。これらのコレクションから浮かび上がる漱石の人柄や交友関係を示す資料を展示した。

＜関連展示＞「図書館の歩みとともに振り返る 100 年」今ここにある図書館になるまでのストーリー

この 100 年の間、すべてが手作業だった不便な時代から、所蔵確認や貸出・返却も機械でできる現代へと移り変わり、図書館でも利用者の皆さんに少しでも便利に使っていただこうと、様々な活動を行ってきた。そんな 100 年を振り返るような、年表・写真・当時の図書館用品などを展示した。

2. 来場者数

合計：1,701 名

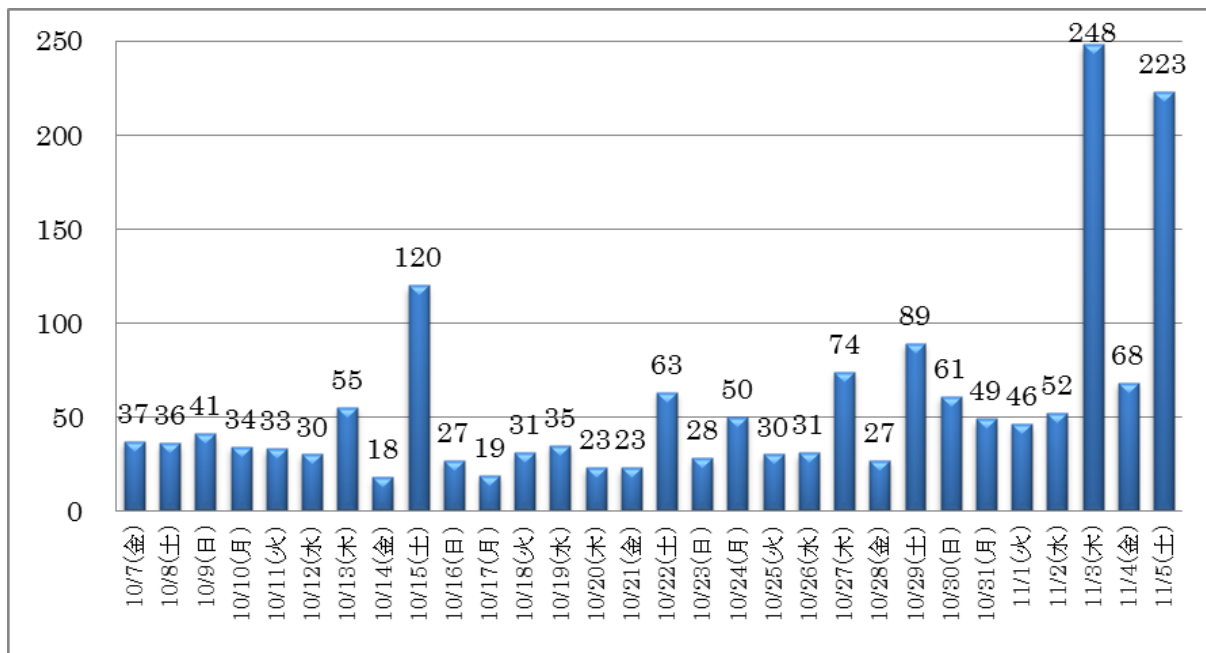


図 1: 来場者数の推移

(参考)

平成 23 年 10 月 15 日(土): 附属図書館創立 100 周年記念講演会を開催

平成 23 年 11 月 3 日(木): 附属図書館創立 100 周年記念古本市を開催

平成 23 年 11 月 5 日(土): まなびのめ Live 版「使えるんです！大学図書館」を開催、企画展最終日

3. 来場者アンケートの集計結果

3.1 アンケート回答者

524 名(来場者 1,701 名, 回答率 31%)

3.2 所属

東北大学の学生	193
東北大学の教職員	33
他大学の学生・教員	32
高校生	7
中学生	0
小学生	5
東北大学のOB・OG	51
一般	184
その他	17

※その他：保護者，放送大学，市教委

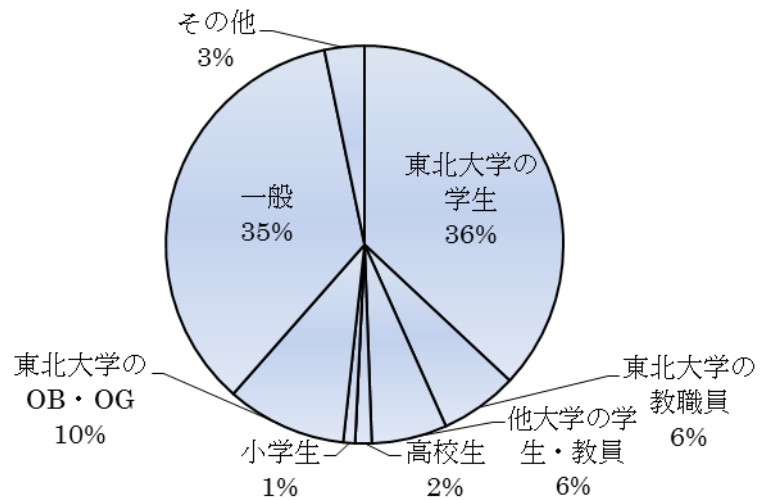


図2: 来場者の所属

3.3 住まい

仙台市内	388
宮城県内	47
宮城県外	89

※県外：東京 19, 福島 9, 山形 9, 新潟 9, 埼玉 4, 大阪 3, 岩手 3, 神奈川 3, その他秋田, 茨城, 高知, 千葉, 愛知, 広島, 長野, 三重, 山口, 大分など

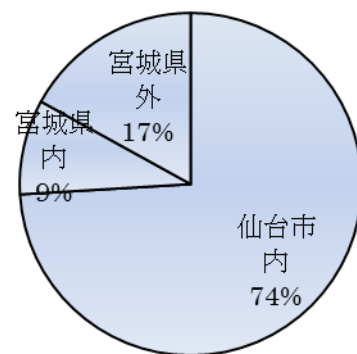


図3: 来場者の住まい

3.4 性別

男性	289
女性	210

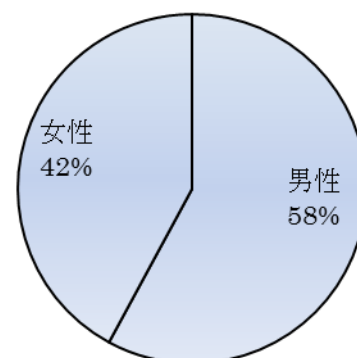


図4: 来場者の性別

3.5 年齢

10歳未満	1
10代	58
20代	182
30代	43
40代	59
50代	64
60代	69
70代	35
80代以上	11

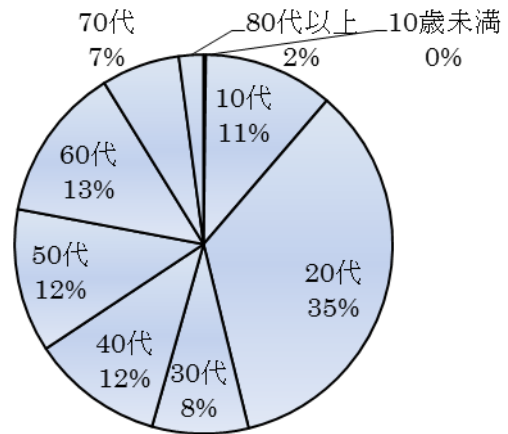


図5: 来場者の年齢

3.6 展示会を知った場所

案内状	39
ホームページ	42
ポスター	164
新聞イベント欄	12
テレビ	10
知人から聞いて	78
その他	168

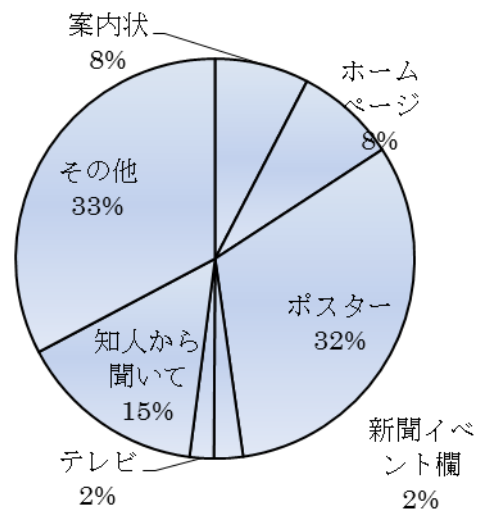


図6 展示会を知った場所

※ポスターの貼ってあった場所:

図書館 113, キャンパス内 13,
市民センター2, メディアテーク 2,
日独文化センター1, 東北歴博 1,
青年文化センター1

※その他: たまたま 82, ラジオ 9, ちらし 8, ツイッター6, まなびのめ 4, 大学祭 4,
市民センター3, 授業で 3, 勧誘 2, その他萩ホール, 萩友会メール, 豊齢学園,
先生の紹介など



写真 1: 職員による展示解説



写真 2: 夏目漱石画幅

3.7 もっとも興味を持った資料

(1) 個別の資料が多かったもの

- ① 夏目漱石自筆資料
- ② 種の起源
- ③ 坤輿万国全図
- ④ 夏目漱石画幅
- ⑤ 資本論
- ⑥ リヴァイアサン
- ⑦ 国富論
- ⑧ 古今和歌集
- ⑨ 史記

(2) その他各部が多かったもの

<第一部>

- ・奈良絵本 ・徳川秀忠書状 ・茶経
- ・百万塔陀羅尼 ・君台観左右帳記 ・武家書状
- ・つれづれ草 ・古筆 ・称讃浄土仏撰受経

<第二部>

- ・第二部全体(多数) ・料理早指南
- ・新模様雛形 ・料理通大全
- ・青楼絵抄年中行事 ・江戸名所二十一續
- ・素人庖丁 ・今様櫛雛形

<第三部>

- ・西洋の名著 ・Encyclopedie ・法の精神

<第四部>

- ・吾輩は猫である ・漱石先生

3.8 今後、取り上げて欲しいテーマ

- ・東北大にしかないもの
- ・東北大ゆかりの文学者
- ・東北大で世界的に有名になった方をテーマに
- ・東北大学の歴史
- ・仙台、宮城の歴史
- ・東北の戦国時代
- ・鎌倉時代
- ・江戸、明治時代に関する文献の展示

- ・明治文化
- ・NHK ドラマ「坂の上の雲」放送に合わせ、明治時代の東北大にスポットを当てる。
- ・昭和
- ・個人文庫
- ・狩野文庫
- ・漱石と猫
- ・漱石をもっと詳しく
- ・和算
- ・チベット資料
- ・藤野先生、周恩来
- ・アインシュタインの特集(東北大学での研究と歴史)
- ・作家自筆原稿や個人的な葉書
- ・江戸期の瓦版
- ・震災の写真展
- ・関東大震災や三陸沖大津波の時人々はどう動いたのかなど。
- ・仙台の気象、火山、地震災害の歴史
- ・同一時代の日本と国外の文化を比較したもの
- ・中国関係
- ・朝鮮と日本の関わり又は東北との関わり
- ・西洋やイスラムの古地図と地理認識の移り変わり
- ・仏教関係
- ・宗教関係
- ・経済学の貴重書展
- ・文学関係
- ・フランス文学
- ・茶道関係
- ・絵本の資料
- ・工学
- ・恐竜
- ・民俗学
- ・遊郭特集
- ・妖怪
- ・サンスクリット語
- ・世界の名画
- ・美術・建築関係
- ・WW1 日本に関すること

- ・本の装丁
- ・海賊
- ・日本の山岳の歴史など自然との関わり
- ・星座に関するもの
- ・平泉
- ・スズキヘキ特集
- ・マザーテレサ
- ・宮沢賢治
- ・萩原朔太郎
- ・源氏物語関係(平安文学のくわしいものなど)
- ・西遊記
- ・紺紙金銀字交書一切経
- ・資本論の特集

3.9 今回の展示に関してのご意見・ご感想

- ・貴重な書を実際に見られてよかった。今後も保存してください。
- ・日本の墨の字は素晴らしい。小さい字を見ると、そのための墨, 筆, 和紙, 金, 銀, 織物, 装丁, どれをとっても高い技術に今更ながら感動・感服します。
- ・感動しました。
- ・名前だけ知っているものも、現物が見られると親近感がわき、興味を持ちます。
- ・東北大学が日本を代表する教育者や世界的な思想家と交流があったことを改めて知ることができました。
- ・教科書で見たものが実際に見られてよかった。
- ・第三部が当時の印刷物が見られる非常によい機会だった。
- ・素晴らしい古文書でした。
- ・江戸時代は今の時代とずっとつながっている。昔の人のほうが考える「力」が強いと思います。
- ・特にディドロ・タランベールの百科辞典は名前だけでしか知らなかったので見られてよかった。
- ・第三, 第四部は展示資料そのものについて解説されていたので見ていてとても面白かったです。
- ・難しいかと思ったら意外に面白かった。
- ・知っている歴史人物のものがいろいろあって楽しかった。
- ・静かでゆっくり見られました。
- ・すばらしい内容です。もっと PR してもよろしいのではと思います。
- ・二度目です。
- ・日本の古い時代から江戸庶民の様子, 西洋の名著, 漱石の資料まで幅広い展示に驚きました。
- ・東北大学の学問に対する熱意を感じました。
- ・80 歳になりますが, 今日素晴らしい展示品を拝見でき幸福です。戦いで死ななくてよかったとしみじみ思います。大学の繁栄を祈ります。
- ・来年も期待しています。
- ・夏目漱石の草稿, 原稿が見られて感動しました。
- ・江戸時代の庶民の生活を垣間見ることができ面白かった。特にトイレが上方と江戸で違うのは興味深かったです。



写真 3: 瀬名秀明氏(左)と柳澤副館長



写真 4: 『種の起源』寄贈者の岡本宏氏(左)と
片山事務部長

- ・音楽が落ち着いてよいです。
- ・A good chance for non-Japanese students to know more about Japanese history and its endless culture.
- ・保存状態がよくて感心した。
- ・種の起源の中が見たい。
- ・興味深かった。無料とは思えない。
- ・歴史をちゃんと勉強したことがない理系でも楽しめました。
- ・写経の金銀の字の鮮やかさ、釈迦説法図の鮮やかさが印象に残りました。
- ・奈良絵本を見て感動した。もしかして日本マンガの起源は奈良にあるのかと思いました。
- ・昔の日本文学や歴史の中には仏教の影響が強かったと思った。
- ・この展示室はいつも照明が映り込んで見にくかったのですが、今回はよかったです。関係者の方々のご努力に敬意を表します。
- ・中国の出身で、初めて「史記」を見た。昔の中国の名著が日本の知識人たちにこういうふうに読まれたんだと感心しました。
- ・江戸の庶民文化が広く浅く説明されていたので、歴史にあまり興味がなくても楽しめました。

<改善点が含まれたコメント>

- ・私語の多さが残念。受付の人でも会話していたので、ここでは話しても大丈夫という意識を助長してしまったのでは。私語厳禁とまでいかなくても声かけは必要。
- ・費用はかかるとはありますが、オーディオセットを用意して簡単に説明するとよくわかると思う。
- ・パネルの解説を資料化してほしい
- ・古筆には開いているページの訳文があるとより助かります。
- ・自筆の手紙や原稿の字が薄いので、脇に濃い色のコピーかタイピングしたものを置いたらわかりやすいと思いました。
- ・部数を少なくして全体をみられる展示も見たいですね。

- ・アインシュタインからの書簡を見たかった。
- ・展示入替で徳川秀忠公の書状が拝見できず残念だった。
- ・会場が狭い。もっと広い場所でやってほしい。
- ・展示期間を延ばしてほしい
- ・もっとふりがなをふってほしい
- ・会場の場所がよくわからなかった
- ・本歌の見られる期間を少し長くしてほしい。
- ・第二部と東北大との関係が知りたいです。
- ・展示がないのに説明書きがあるのは少しさみしかった。
- ・文章が難解なので、解説や訳があるとよい。
- ・進化論初版本の寄贈を報じる新聞が展示され有益な内容です。日付が不明でした。
- ・説明文を別紙にまとめていただけたらよかった。有料で可。
- ・写真を撮れるものも置いて欲しい。
- ・夏目漱石の詩が読めなくて残念。画の立派さに驚いた。
- ・会場が暗い。
- ・国宝の本物の展示日を事前に知りたかった。
- ・とても楽しい企画ありがとうございました。レプリカでもいいので手にとって見られるといいです。
- ・リヴァイアサンはせっかくなので全版見たかった。
- ・有名なものばかりで驚きました。(レプリカだとは思いますが…)
- ・国宝の本物展示情報はHPにも欲しかった。
- ・東北大学図書館の価値を特に市民、県民に様々な企画を通してアピールしてほしい。学生も図書館を大いに利用し、素晴らしい伝道師になってくれることを期待しています。
- ・展示について博物館学、展示学の研究者の意見を取り入れた方がよいと思います。パネルを照らすライトが強すぎ、下にある展示ケースに映り込み、資料が見えない。資料の取り扱い(資料、けさんの置き方)が雑で貴重な資料が汚損、破損するおそれがあります。職員の方でチェック、総括をおすすめいたします。
- ・政宗の資料や漱石の「作家の態度」など、中身

に何が書かれているか興味があっても一般人にはわかりにくいものがあつたので、それらの解説を補うものがあると嬉しい。(コラムと資料のギャップを埋める追加的な何かがあると良いと思います。)

- ・展示の解説などで少々難しい文言があるので、読み仮名、語句の解説などをより細かくするとさらにわかりやすくなると思います。
- ・このような機会がもっとあるとよい。
- ・「東北大所有の資料展示」ということで部門と部門の間に脈絡がなく、回って歩くにはづらい。
BGM はいらないと思います。
- ・萩ホールの講演会もこの展示も宣伝が足りない。
努力が必要。無料ということで安心しすぎているのでは。
- ・専門家を一人置いて質問ができるようにしてもらえると嬉しい。
- ・「種の起源」の書誌学的な解説が欲しかった。
- ・漱石グッズなど展示の際に実物を見せてください。
- ・模型プラモデルなどを用意するともっと楽しい。
- ・外の学生の声がうるさい。BGM もいない。

(たなか あけみ, 附属図書館情報サービス課閲覧第二係長)